

## 年頭のごあいさつ



# 幸せに暮らせるまちづくりのために

周防大島町長 椎木 巧

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかで、輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

さて、私は町長就任以来、財政の健全化を第一に掲げ、昨年までの10年間、一貫して行財政改革の推進と生活関連施設の整備や防災対策、子育て支援の充実等を図ってまいりました。

100万人を超えた観光交流人口の一層の拡大と地域の活力の維持・創出のため、定住の促進に向けて住宅確保を支援する若者定住促進住宅用地整備事業と子育て定住促進住宅建設事業をスタートすることができました。

昨年は、大島郡が過去に経験をしたことがない甚大な事故の発生と大きな災害に見舞われた年でありました。

年が明けた1月11日、町内に浄水を供給するため大島大橋に添架された送水管が、大島側から80メートル付近の接続部分で破断したことにより、送水管が復旧するまでの間、町内全域が断水する非常事態となりました。

7月には、台風第7号及び梅雨前線の影響によって、西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となった「平成30年7月豪雨」は、町内に甚大な被

害をもたらす激甚災害となりました。

そして、10月22日未明にドイツの海運会社が所有する巨大な貨物船が大島大橋の橋桁に激突し、橋に大きな損傷を与え、橋に添架された送水管を切断するという過去に例を見ない重大な事故が発生させました。町内は長期間の断水と橋が受けた損傷により、大島大橋は通行規制を余儀なくされ、強風時の全面通行止めによる影響は、地域経済に計り知れない大きな打撃を受けました。応急復旧が完了するまでの間、多くの皆様からご支援と励ましを賜り、心より感謝申し上げます。

また、10年間に及ぶ議論を重ねた米空母艦載機の岩国基地への移駐が、3月30日に完了したことから、これまで以上に皆様の不安解消につながる地域の安心安全対策を強く求めてまいります。

直面している一番の課題は人口の減少対策であり、定住対策を一番に掲げ、大島大橋への衝突事故により特に大きな影響を受けた観光業、農林水産業、商工業等に対する復興支援として、周防大島応援キャンペーンの展開を図ってまいり、「やれることは全てやる」という覚悟で邁進してまいります。

二番目は防災対策であります。近年、災害リスクの脅威は身近なものとなり、大規模災害の発生に備えるためには、スピード感をもって「安全・安心」の防災対策に臨む必要があります。公助の力に加え、自助・共助による地域防災力の向上と自主防災組織の育成により、一人の犠牲者も出さないために、防災対策の充実に努めてまいります。

三番目は健康づくりです。医療や介護事業への充実した施策の展開と皆様が健康であり続けることが、何よりも大切なことでもあります。生活習慣の見直しによる疾病予防、また疾病においては早期発見、早期治療のため、引き続き減塩環境の取組の拡充と健診の受診率向上等に努めてまいります。

合併から15年の節目を迎え、これからも皆様のご協力をいただきながら、「幸せに暮らせるまちづくり」の実現に向け、行政の効率化、簡素化に努め、町政を推進してまいり覚悟であります。ですので、ご協力をお願いいたします。

終わりになりますが、今年一年が町民の皆様にとりまして、良き年でありますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。